

親子聖書日課

NO.1639 2020.2/23-29

名前

[日]詩人は「主よ、報復の神」として立ち上がり、高ぶる者に報復して下さいと祈ります。報復とは「正しく報いる」ことです。決してやり返すことではありません。義なる神だけが、各自の行いに正しく報われます。自分で報復してはいけません。

[月]「今日は忙しいから、明日にしよう」と、主に従うことを先送ってはいけません。明日が来るという保証はないからです。今日こそ、主が招いて下さった救いの日ですから、心を頑なにしてはいけません。主の声に聴き従って、救いを得ましょう。

[火]「聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ」ないで、権力や富にひれ伏す人がいます。そこから争いが起こります。私達は自分の救いに満足してはいけません。世界中の人が真の主の主にひれ伏すよう、日々「御救いの良い知らせを告げましょう」

[水]愛する家族ほど救いから遠いと思うことがあります。祈っても祈っても、主を信じてくれないからです。しかし、山のような頑なな心でも、神の力によって、口のように溶かされる時がきます。諦めてはいけません。主の光を輝かせましょう。

[木]主を賛美するのは、救われた人だけではありません。海も山も、造り主を賛美します。賛美は、主の御業に感謝して、それに応答することです。どんな時も、「主に向かって喜びの叫びをあげよ」とすると、力が湧いてきて、主の栄光が現れます。

[金]「主は聖なる方」ですから、当然、私達を聖なる人生へと招いています。その人生を自分のものにするためには、罪を告白して、主をあがめることです。そのために、「ひれ伏す」礼拝を捧げることです。礼拝から聖なる生活がスタートします。

[土]信仰者が喜び・感謝・賛美に溢れているのは、造り主なる神が私達を養って、万事を益とされることを知っているからです。「主こそ神である」と知っているからこそ、幸せな人生を送れます。御言葉と祈りによって、日々、主と交わりを深めましょう。



	聖書	問題	答え
日	詩編 94:1-23	どのような神として顕現し、全地の裁き手として立ち上がりますか。	
月	95:1-11	今日こそ、何に聞き従わなければなりませんか。	
火	96:1-13	聖なる輝きに満ちる主にどうしなければなりませんか。	
水	97:1-12	山々は何のように溶けますか。	
木	98:1-9	全地よ、主に向って、何をあげるべきですか。	
金	99:1-9	我らの神、主はどのような方ですか。	
土	100:1-5	何を知るべきですか。	
感想と祈りの課題			